

美しき里わんぱく村整備事業

取組に至る背景・事業の目的

明日を担う子供たちと住民が参画して、自然観察等野外教育の場として活動する目的で、荒廃した里山の整備を行い、美しき里山として四季を通じ住み良い義仲の里を形成していく事を目的に3か年計画で、平成25年春に自由に野外活動ができるよう開村させる。

事業内容

JR宮ノ越駅付近と国道19号線の間段丘で「わんぱく村」の園内に水力・風力・太陽光発電施設を設置して、自然エネルギーの尊さと活用を学ぶ場所を創設した。

また、アジサイ園、フォレストアート、花木園を造成し、自然観察及び野外体験をする場所を創設した。

その他、宮ノ越地区中心部を一望できる場所に東屋を建築した他、吊り橋付きツリーハウスや林間ブランコ等の趣あふれる施設とした。



【450本を植えたアジサイ園】

事業効果

アケビ、クリ、魚及び山野草等、自然の恵み豊かな環境での自然観察会、木及び水の文化など四季を通じた多様な野外体験及び自然エネルギーの尊さ等、施設の活用を肌で感じる場を創設した事で、人が交流する場所となり、福祉施設及び他の地域からも来村するなど、義仲の里の活性化が図られつつある。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

祖先が築いた里山の保全と活用を基本に多様な樹種を保存したほか、野草等里の花々の保存と増殖により教材として活用した。

歩道は子供と老人が楽しめるよう、バリアフリーとするのに苦勞した。今後は鳥、昆虫などが生息する豊かな明るい里山及び心の安らぎの場となるよう取り組む。

【選定のポイント】

鬱蒼としていた人工林を切り拓き、自然豊かな遊び場として整備され、定着しつつある。地元児童も作業に参加し、水力、風力及び太陽光の発電等、自然エネルギーも身近に感じることができる。

今後、整備の継続と、地域の内外への積極的な情報発信により、この「村」をよりどころとした活動がさらに拡充していくことが期待される。

団体名 木曾町
連絡先 0264-26-2301 (日義支所)
ホームページ <http://www.town-kiso.com>
メールアドレス h-soumu@town-kiso.net

事業タイプ	ソフト・ハード
事業費	2,070,338円
支援金額	1,143,000円